Feng-Shui Gallery

special edition　*vol.106*

『色彩リフォームのご提案』

～色彩がもたらす室内環境の変化～

リフォーム案



白を基調とした空間に、色彩という「情報」をプラスすることで
表情が生まれ、エネルギーを高めることにつながります。
視覚は人間の五感の中で、最も多くの情報を取り込む感覚であり
外部から受け取る情報の７割以上を占めます。
色彩を上手に取り入れることで、脳疲労の緩和や
感情・自律神経のコントロールが期待できます。

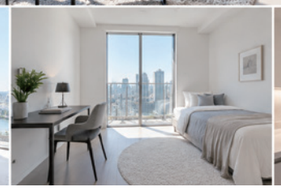


リフォーム案



原設計







写真でご紹介している内装リフォーム案は、「LDK」「洗面所」「寝室」の壁面に暖色を基本とした色彩を施し、家具の一部の仕上げを変更したものです。壁面にはアクセントカラーを採用し、空間ごとに適した配色を施しています。「LDK」はオレンジベージュを基調とし、アクセントにオレンジ色を採用した、団欒とコミュニケーションを重視した配色。「洗面所」は寒いイメージを払拭する為に、黄色と山吹色の配色で、明るく温もりを感じる空間に仕上げました。「寝室」のアクセントカラーには、脳の鎮静化や安眠といった、感情を落ち着かせる色彩の薄紫やブルー系統を採用しました。

また、白い壁の空間は影になる部分が目立ち、気分が高まりにくいといった弊害もありますが、薄めの色彩を施すだけで、その弊害を緩和することができます。

色彩とは別に、暗くなりがちな部屋の四隅を照明で照らしてあげることでも、空間から受け取るイメージを大きく改善することができます。

近年のインテリアで多く取り入れられている「グレージュ」や「ウォームグレー」などの色彩は、白い無彩色をベースとした空間だと、若干の寂しさや冷たさを感じさせますが、色彩をプラスしてあげることで、柔らかさや優しさといったイメージに変えることが可能です。

リフォーム案



